

次第

- 令和6年度 第2回 バイオマス分科会 -

日時：令和6年9月13日（金）15：30～

場所：富士見町役場 302-303階会議室

1. フォレストーズ合同会社 小森氏によるゾーニング紹介
2. 森林環境税の使い道の確認
3. 具体施策に向けたFS調査事例の紹介
4. 目標の設定（目指すべき施策）⇒第3回目に問題の洗い出し

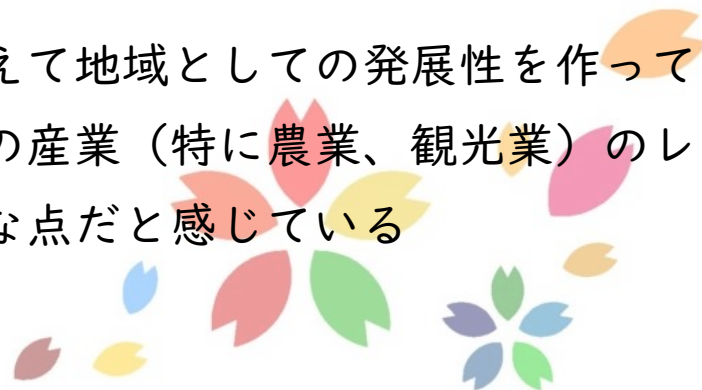
昨年度のビジョンやこれまでの地球温暖化推進委員会の資料を拝見して感じたこと

①気候変動や環境変化に対応していく適応の視点

②生物多様性向上の視点

③林業や事業者といった個々の経済性の観点を超えて地域としての発展性を作っていく検討を含めていただきたい。特に防災や富士見の産業（特に農業、観光業）のレジリエンス向上は検討の柱の一つとするくらい重要な点だと感じている

③については次回分科会で事例紹介



議事録

○ゾーニングに関して相談役となるフォレスターがいない。そのため異動がある役場職員が中間に入るためゾーニングの知識経験が足りない。

○林野庁のもりぞんアプリとGISデータを掛け合わせることで目標区分のゾーニングデータが作れる。環境保全林や木材生産林ごとにまずは色分けしていき、森の所有者から自分の森が木材生産林に向くかどうか細かいデータを取れるようなくみができるのが理想。

○バイオマスのポテンシャル調査は優先順位高い

○バイオマスの熱利用についてしっかりとした目標を立てないといけない。売値、買値からバイオマスが可能か関係各所から話を聞きたい。

次回の宿題

温浴施設（道の駅・ゆーとろん・高原リゾート等）については灯油使用量を再確認する。

バイオマス熱利用について、実際に運用できるかどうか各分野からの意見聴取。

